51124000　5112400000　SI-15

据置台　ROP-9201UW　設置工事説明書

適応機種：RF-111SWF

この製品は、上記の機種（屋内浴室外設置）を設置する際に使用してください。

⚠ 警告

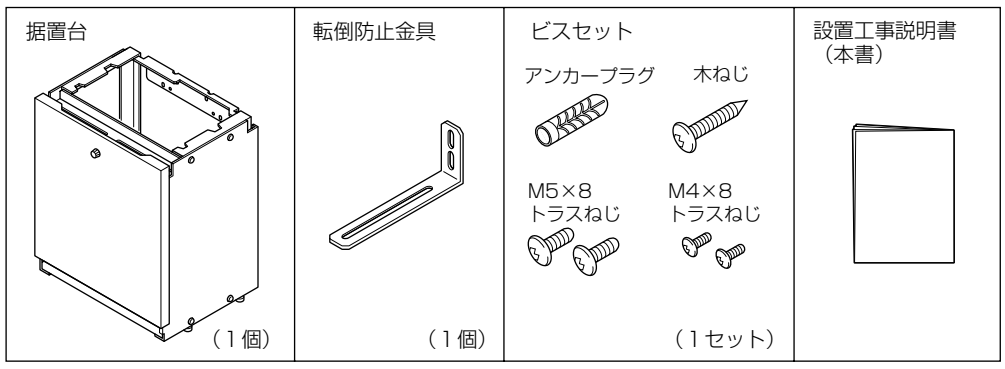
設置工事は専門の資格者が行う

- 機器本体およびこの製品の設置工事には専門の資格・技術が必要です。設置工事は必ずお買い上げの販売店に依頼し、お客様自身での設置工事は絶対に行わないでください。思わぬ事故となります。

設置工事をされる方へ

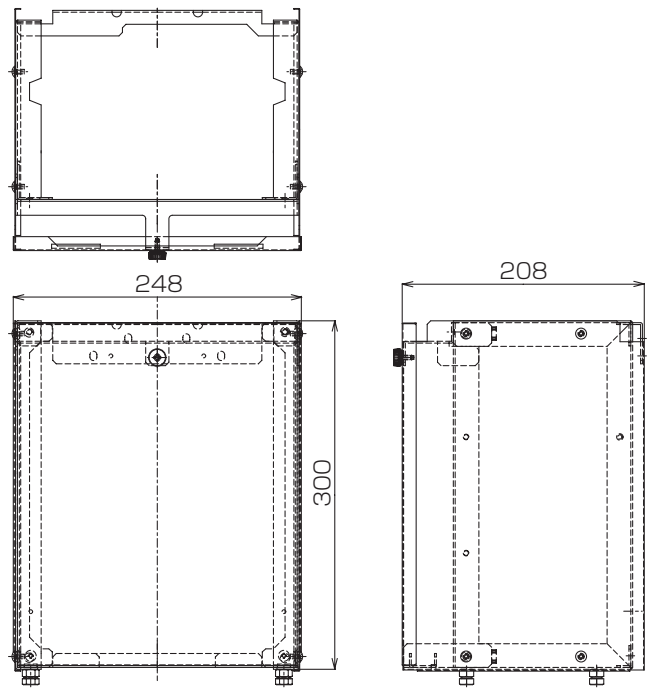
- この説明書と機器本体の設置工事説明書、「ガス機器の設置基準及び実務指針（一般財団法人日本ガス機器検査協会刊）をよくお読みになり、正しい設置工事を行ってください。この説明書および機器本体の設置工事説明書に記載されている以外の方法による設置工事が原因で生じた事故および損傷、人身事故等は設置工事者の責任となります。
  燃焼機器を設置する場所は、建築基準法や火災予防条例に定める防火処置等に適合する必要があります。また当該地区の市・町・村等の火災予防条例にも従ってください。

1　同梱部品の確認

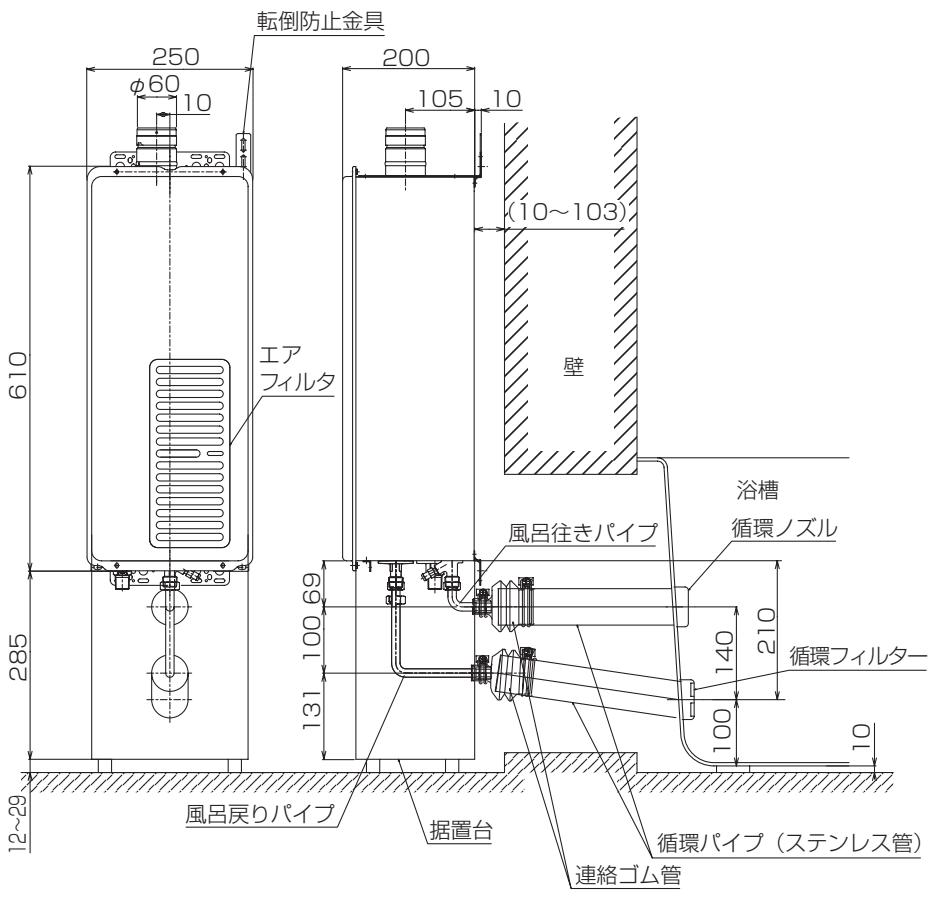


2　外形寸法図と標準設置図（mm）

●外形寸法図



●標準設置図



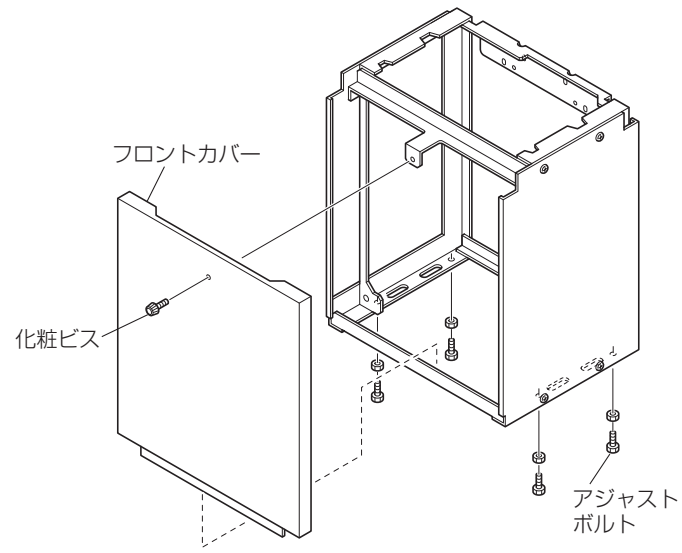
※上図は、据置台用配管セットROP-9HSを使用して、浴室に隣接して設置する場合の例です。延長配管や循環アダプターUF-1100シリーズを使用して設置することもできます。

3　機器の設置

（1）据置台のフロントカバーを取り外します。（化粧ビス1本）

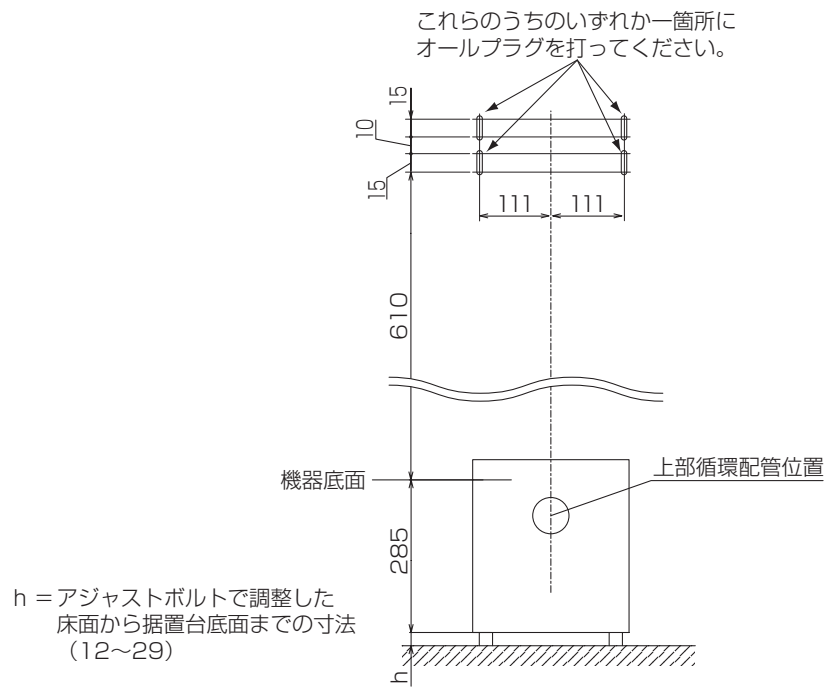
（2）据置台の下部4箇所に組み付けてあるアジャストボルトを緩めて高さを調節し、設置しようとする場所に置いてください。
既設の浴槽に接続されている循環パイプが標準設置図で図示されている位置で接続できるように、アジャストボルトで高さを調節してください。

（単位：mm）

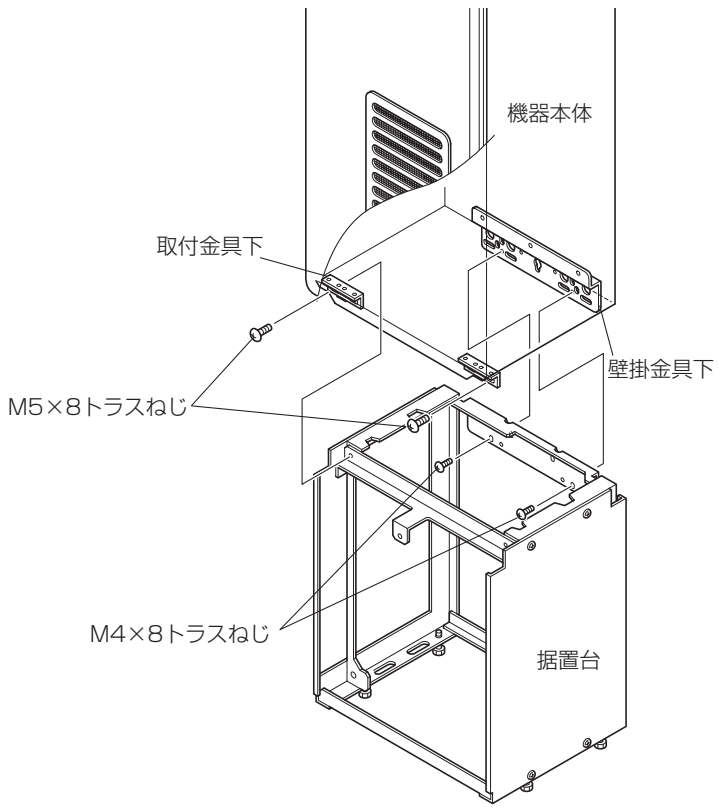


（3）浴室との境の壁面がコンクリート壁の場合は、あらかじめ転倒防止金具を固定するために、壁面に付属のオールプラグを打ち込んでおきます。
※オールプラグ用の下穴径はφ7、深さ30～35mmとしてください。

（単位：mm）



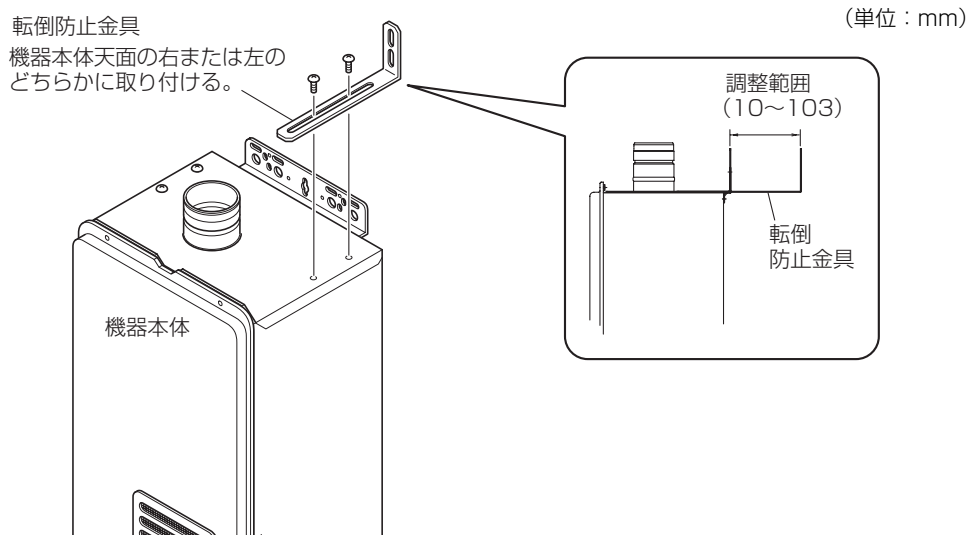
（4）機器本体を据置台の上に乗せ、機器本体の壁掛金具下と取付金具下を、付属のM4×8トラスねじおよびM5×8トラスねじで、それぞれ据置台に固定します。



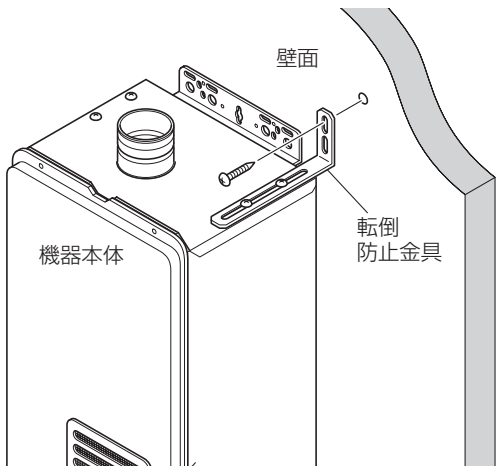
（5）付属の転倒防止金具を機器本体の上部に取り付けます。転倒防止金具の機器本体への固定位置をずらして壁面までの距離を調整してください。（調整範囲10～103mm）

※手順（3）で壁面にアンカープラグを打った場合は、打った側の機器本体天面に転倒防止金具を取り付けてください。

（単位：mm）



（6）おいだき配管の接続をします。使用する追いだき用の部材により、追いだき配管の施工方法が異なります。

据置台用配管セットROP-9HSや循環アダプターUF-1100シリーズの設置工事説明書や、機器本体に付属の設置工事説明書に従って、正しく施工してください。

（7）付属の木ねじで、転倒防止金具を壁面に固定します。壁面がコンクリートの場合は、あらかじめ打っておいたアンカープラグに木ねじをねじ込んでください。